

'14.12

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工会連合会
代表者 木南岩男
発行人住所 神戸市中央区花隈町6番19号
〒078(371)1261(代)〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 安平 一志
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植
会員の購読料は会費に含まれています

第688号

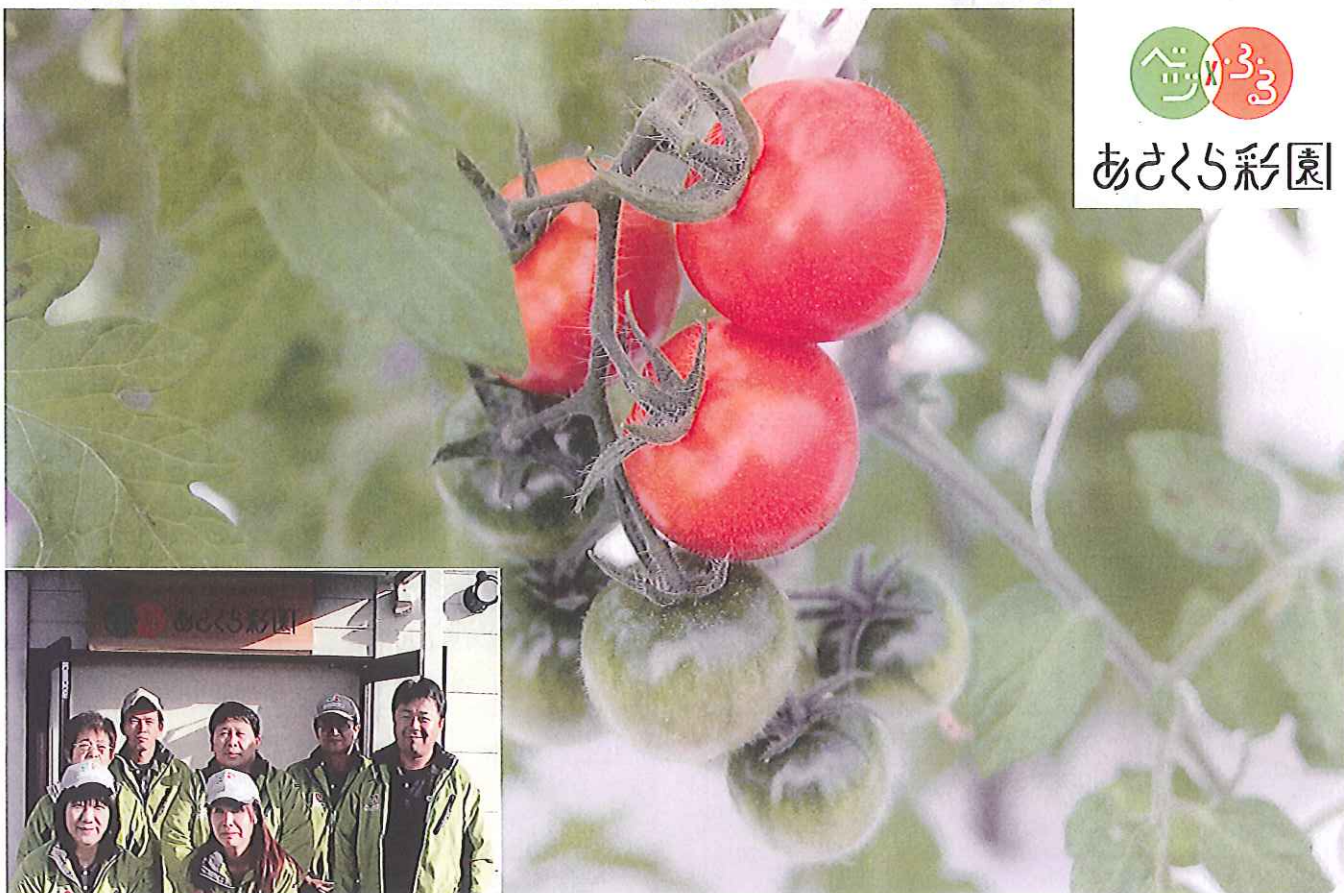
兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成26年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



あさくら彩園

▲「ベジ×ふる あさくら彩園」自慢のトマト。スタッフは統括の寺田部長(写真後列中央)を中心に日々研究を重ねている。

Contents

■ 県連合会Letter ————— 2~3頁

- ・ 商工青年同友会 第2回研修会
- ・ 県女性連 商工会女性部指導者県外交流研修会
- ・ 近畿ブロック商工会職員協議会 第3回経営支援事例発表近畿大会
- ・ 祝 秋の叙勲

■ あなたのまちの元気な企業(養父市) 4頁

■ 商工会Letter ————— 5~6頁

- ・ 創業スクールを開講……………(姫路市)
- ・ 丹波市初の大相撲……………(丹波市)
- ・ 黒田官兵衛を題材にしたPR動画を作成……………(宍粟市)
- ・ 新たな女性部活動へのチャレンジ(朝来市)

この農園は、八鹿鉄工株式会社(養父市)のアグリ事業部「ベジ×ふる あさくら彩園」のもの。農機具メーカーの老舗である同社は、高齢化や後継者不足で危機的状況にある農業に新たな可能性を生み出すべく、平成25年アグリ事業部を設立し、農業事業に参入した。

製造業で培った「生産管理」「品質管理」等のノウハウを活かしながら、地域の雇用拡大・農業振興を目指している。(詳細は4頁)

太陽の光をたっぷり取り入れた明るい植物栽培ハウス。およそ1000㎡の敷地内に一面に茂った緑の隙間から、赤くて可愛らしいピンポン玉サイズのトマトが見え隠れしている。

特殊なフィルムを使った「アイメック農法」によって育てられたトマトたちは高糖度・高栄養価に成長。つやつやと輝きながら、出荷を今か今かと待っている。

八鹿鉄工株式会社

(養父市)

製造業として、新たな一歩

あなたのまちな元氣な企業

八鹿鉄工株式会社 (養父市)

次世代農業への新たな挑戦

農業の新しい可能性を求めて

兵庫県養父市に本社を置く八鹿鉄工株式会社。農業用機械製造会社として、創業以来73年にわたり農業に従事する人々を技術面で支えている。

しかし、農業を取り巻く環境は厳しく、従事者は高齢化・後継者不足に悩まされているのが現状である。

「農業を盛り上げ、地域に雇用を生み出すには、新しい可能性や切り口が必要だ」

こうした社長の思いから、平成25年9月、社内にあるアグリ事業部（統括部長・寺田正之氏）が4名体制で立ち上がった。

まず、実証拠点としてLEDを利用したハウスでレタス等の栽培を開始。しかし、農機具メーカーの社員とはいえ、農業に関しては素人。手さぐりの中、寺田氏は、担当の宮崎氏とともに商工会に



▲丹精込めてトマトを栽培。収穫が待ちどおしい。



▲アイメック農法で育てたトマトの根。養分を吸い取ろうと、びっしりフィルムに張り付く。

後の11月には、ハウス内で3500本のトマトの苗が元気に育ち始めていた。

「アイメック農法」

は、特殊なフィルムで作物と養液を隔離して栽培する技術。

作物はフィルムを通して水と栄養を吸収する過程で糖分・アミノ酸を大量に作り出すので、高精度・高栄養価となる。

11月の定植後、平成26年2月下旬にははじめてのトマトを収穫。一般的なトマトの約2倍の糖度を持ち、酸味とのバランスも絶妙。栄養価も高く、大成功だった。

収穫されたトマトは「甘えん坊の赤オニくん」と名付け、地元道の駅等で販売。子供目線でも選んでもらえるユニークな



▲「甘えん坊の赤オニくん」。道の駅「ようか但馬蔵」「但馬のまほろば」等で販売。1パック400円(税込)

ネーミングに加え、薄皮で甘いため『フルーツ感覚で食べられる』『トマト嫌いの子供が大喜びで食べた』等、大反響を得ている。

26年度の収穫は約11トン。ハウスを増設し、来年度は3倍の収穫を目指している。

「製造業」×「農業」のコラボ

アグリ事業部の社員たちは製造業で培った「現場改善」「コスト削減」「5S」等を農業に取り入れ、常に生産改善に努めている。

トマトは作り方で味が全く変わる。水と養分の量、回数、温度…。社員たちは常にデータをとり研究する。大事なトマトを美味しく食べてもらうため、皆、苦勞と研究を惜しまない。

今後、収穫が増えれば、ジャムやアイスなどの加工品への挑

戦という新たなステージが待っている。また、地元で愛される商品に仕上げ、京阪神にも販路を拡大していきたいとのこと。

寺田部長は語る。

「今まで商工会にお世話になることは少なかったが、アグリ事業部を立ち上げる際に相談して本当に良かった。担当の指導員さんは我々と一緒に農業の勉強をし、毎日トマトを食べた。6次産業化法に基づく総合化事業計画の認定や補助金申請書作成も親身になってアドバイスしてくれました。今後の展開の際も協力してほしい。」

地域とともに生きる企業として新たな一歩を踏み出している八鹿鉄工株式会社。養父市の国家戦略特区（農業特区）の指定も追い風となり、最先端の農法で次世代農業をクリエイトする取組に注目したい。

【企業概要】

企業名/八鹿鉄工株式会社
代表者/寺田 寛
所在地/養父市八鹿町朝倉200番地
☎079-662-7111
FAX079-662-7118
ページ×ふる あさくら彩園URL
http://www.asakura-saien.com/concept/